

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年8月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300864
法人名	有限会社 うえの福祉会
事業所名	グループホーム うえの
所在地	鹿児島県鹿屋市上野町5200番地1 (電話) 0994 -40-3181
自己評価作成日	令和3年7月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年8月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・私たちは、ご利用者様一人ひとりのニーズの把握と実現に向けた工夫を行い、自由に感情表現が行える様に視線を合わせたりして安心して施設生活が行える様に支援を行っています。創作活動やレクリエーションを通して、身体的機能の維持や向上又は、一つの物を作りあげる事で得られる達成感を大切に支援を行っております。
- ・当事業所では、慣れ親しんだ施設で最期の時を迎えられるように、看取り介護に関しての研修、寝たきりでも入浴が行える様に特殊浴槽を完備し、安心して最期の時まで自分らしくを大事に考え支援を行っています。
- ・医療支援者との信頼関係構築の基づく看取り介護を含めた支援体制の確立にも力を入れ、居宅支援診療や訪問看護事業所との連携を図り、ご利用者様、ご家族に安心した施設生活を提供出来る様に努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・基本理念に沿って、知覚・感情・言語による包括的コミュニケーションケアをめざし、利用者・職員が一体となって楽しい生活ができるような支援を行っている。
- ・母体法人が運営する各施設との連携が密で、行事や訓練等に合同で取り組んでいる。法人の体育館は地域にも開放し災害時の地域の避難場所にもなっている。各施設や地域と一体となって、外部の芸人一座を招き楽しんでいる。
- ・入浴は特殊浴槽を完備し、状態変化があっても、入浴できる体制が整っている。
- ・かかりつけ医は本人や家族が希望する医療機関であり、24時間医療連携体制が整っている。家族と話し合い訪問看護や終末期は医療関係者・家族・職員等の連携で、本人・家族の希望に沿うような支援を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念に掲げている、地域との交流に関してはコロナ感染症対策の為、実施していないが、ご利用者様が自分のペースで生活出来る様に支援を行っている。	事業所独自の理念は玄関やホール・浴室の横等に掲示しパンフレットにも掲載している。職員会議録にも記載し、理念を共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事等、コロナ感染症対策の為、交流出来ていない。	自治会に加入しているが、コロナ感染防止の為に地域の行事は自粛し、回覧板により情報を得ている。近隣を散歩の際のあいさつや野菜の差し入れ等がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	以前は、オレンジカフェなど地域の方々とお茶を飲みながら交流を行っていたが、感染症対策の観点から実施出来ていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染症対策の観点から、書面での開催を行い。返書にて意見等を頂いている。	運営推進会議はコロナ感染防止の為に、参加者へ資料を郵送して電話や返信用の書面で意見やアドバイスを貰っている。食事についての質問に楽しい食事を目指していることやワクチン接種完了報告に安心されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>感染症対策の観点から、電話で相談を行ったりするが、難しいと感じる場面もある。</p>	<p>申請書類の提出時に担当者と相談している。運営推進会議は書面の送付になっているが、電話で現状報告したり、アドバイスをもらい協力関係を築いている。リモート研修に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関の施錠等は防犯の観点から夜間のみ行っている。また、年間の研修計画を立て、内部研修として知識の向上や再確認等を行っている。</p>	<p>法人の身体拘束廃止委員会に2ヶ月毎に参加し、職員会議やミーティング・内部研修等で研修を行い、言葉遣いや不適切な支援については、事例を示し話し合いを行っている。昼間は玄関の施錠はしていない。拘束のない支援で自由な暮らしに努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部研修（リモート研修）に参加したり、内部研修で研修内容として実施し、知識の向上、再確認を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度関係も内部研修に取り入れ、理解を深め、より幅広く活躍出来るように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所説明（重要事項説明時）にご本人やご家族の方の不安等を軽減出来る様に説明などを行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会での意見交換を通して意見等を述べて頂き、面会時や電話等でご家族の意見を反映させていけるように努めている。	利用者とは日常の会話の中で意見や要望を聞いている。家族からは便りを郵送しての感想や窓越しでの面会・電話で日常生活状況を報告し、要望を聞いている。家族会は今季はできていないが、状況により年末に開催を予定している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の職員会議で、職員の意見を聞き取り、なるべく反映し意識等の向上に努めている。	管理者は職員から日常業務の中や職員会議で意見を聞き、運営に反映している。個々の相談も随時管理者が受けてアドバイスしている。職員間や管理者との関係も良好で、感謝の言葉が出るような職場を目指している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職場内での意識の統一や向上心を図り、処遇の向上や職員の達成感が得られる様に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>リモート研修の場や内部研修で得た事を反映し質の向上や、職員のスキルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>感染症対策の観点から以前の様に研修の場での同業者との交流が出来ていない状況である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人様と会話を通じて、信頼関係を築き、本人様の要望を把握し、安心して頂ける様に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の要望、不安な事などに耳を傾け、何かあったらすぐに連絡を行うなどして、関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人様、ご家族と聞き取りなどを行い、食事の状態、体の状態など、色々な面から支援を見極め、対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>相手の気持ちになって、共感し、支え合う関係を築ける様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	感染症対策として、施設行事は中止となっている。ご家族の面会は職員が付き添い窓越しでの面会を実施。必要に応じ電話での連絡等を行い状況報告を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症対策の為、外出等は中止となり、職員が間に入る事により利用者様との時間を大切に楽しく生活出来る様に努めている。	入居時にアセスメントを行い、情報を共有している。コロナ感染防止の為に外出は自粛している。家族等には窓越しの面会をしている。個々に応じて車での外出を楽しめるように計画している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士が関わり会える様に、職員が間に入り声掛け等の支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されても、その後の様子を伺うなど、関係性を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の話に耳を傾け、意見、考え等を把握し、それらを参考に改善に努めている。	日常のかかわりの中で話を聞いたり、表情や態度から思いを把握している。食事の時に話されることもある。意思疎通が難しい場合は話しかけて反応の観察を行っている。家族の意見も参考にし、本人中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生きた環境などを、話から聞き出し、より良い接遇に反映し、ADL等の向上に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りシートなどを活用し、情報収集を行い職員間で共有し実践を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケース会議等を活用、意見交換し、ご利用者様のニーズが実現出来る様に努めている。	本人や家族の意見や要望を聞き、職員で話し合い介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い、見直しは6ヶ月または必要時に話し合い、現状に即した計画書を作成し支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>その日の状態、様子などを個々に記録し、申し送り等で情報の共有を行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりのニーズに合わせて、柔軟な対応が出来る様に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>感染症の影響で、地域資源の活用に関して、支援が難しい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>突発的な事以外、定期的に訪問診療や訪問看護を利用し支援を行っている。</p>	<p>今までのかかりつけ医の継続希望を支援している。定期受診は家族と職員が同行しているが、家族が無理な場合は職員が対応し、家族に電話で報告している。身体状況により訪問看護や緊急時の24時間医療連携体制も整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の看護師や週1回の訪問看護にて連絡や報告を行い、利用者様の体調管理などを行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時などに、ご家族や病院関係者との情報交換や課題の解決の為、連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人様の自尊心を大切にしながら、本人様の状態について理解の共有を図り、ご家族の方に書面での十分な説明や主治医との連携を図っている。</p>	<p>入所時に重度化や終末期に向けた方針を説明し、同意書をもっている。身体状況の変化により段階的に医師の説明とともに本人や家族の希望に沿いながらチームを組んで支援している。緊急時や一時的に法人からの協力もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時のマニュアルを備え、器具の使用方法や通報の仕方などの研修、訓練を行い実践出来る様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練を実施し、消防の方や地域の方との連携も行っていたが、感染症蔓延防止の観点から実施が出来ていない。</p>	<p>年2回災害訓練を自主訓練で実施し記録に残している。昨年から消防署の立ち合いはないが必要時は消防署の指導を受けている。コロナ禍で地域住民の参加は自粛している。災害時の備蓄は水・乾パン・缶詰等を法人で管理している。台風時はホームで事前にラーメンやレトルト食品等の備蓄がある。避難場所は法人の体育館である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>家庭的な雰囲気作りに努めるとともに、利用者様一人ひとりの個性を尊重し、自尊心やプライバシーの保護について配慮を行っている。</p>	<p>接遇や認知症に関する研修を定期的に開催している。誇りやプライバシーを守るように努め、トイレの声かけは周りに気づかれないようにしたり、入浴時はバスタオルをかけ羞恥心に配慮している。入室はノックして了解を得ている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常生活の中で、本人様の希望を組み、または個人の選択を示す事で、自然と自己決定が出来る環境作りを行っている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者様一人ひとりの生活リズムを大切に、会話の中でどんなこと、どんな物が好きかなどの聞き取りを行い支援できる様に努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>毎朝、鏡を見て髪をといたり、髭を剃ったり出来る様に支援をしている。また、介助が必要な方は職員が手伝いを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	年1回の利用者様の嗜好調査や日常の会話から好みを把握して、喜んで頂ける様に支援をしている。	食事は外注である。嗜好調査を行い、行事や誕生日には食事の他に本人が希望する物を添えて提供している。刺身やきびなどのてんぷら等を誕生日に提供し利用者から喜ばれている。個々に応じお盆拭き等を一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様に合わせた食事量を提供し、食事の形態も、個々に合ったものを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛けや支援を行っている。その際、殺菌作用のある緑茶でうがいをしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意のない方は、時間をみてトイレ誘導を行い、ズボンの上げ下げなどの自立支援を行い、失敗のない排泄が出来る様に支援を行っている。	排泄パターンを把握し、早めの声かけ誘導をしている。排泄の自立支援に向けてトイレ誘導を優先している。入所時はおむつ使用者が家族と話し合っ支援し、改善した事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日のリハビリ体操で体を動かし、水分補給も無理のない様に声掛け支援を行うが、下剤等も適宜使用し支援を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を行い、入浴の楽しみを提供している。	週3回午後からの入浴であるが、希望があればいつでも入浴できる。普通浴槽と特殊浴槽があり、状態が変化しても入浴できる体制ができています。冬場はゆず湯にして楽しんでいる。嫌がる場合は時間を置いたり職員を交代して支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自立の方は、自分のペースでいつでも居室で休んで頂いたり、介助が必要な方は午後から休んで頂ける様に支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様一人ひとりの内服薬の把握に努め、服用の際は職員間で確認し合い、飲み残しの無い様に口腔内のチェック等を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたんで頂くなど、個々の能力に応じた支援を行っている。音楽教室や書道教室、誕生会など行い、楽しみを共有出来る場の提供を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>感染症の影響で、戸外支援は難しい状況だが、外気浴を日常的に行い気分転換等を図っている。</p>	<p>コロナ対策の為、外出は自粛している。近隣の散歩や外気浴を行っている。年間計画をして、現在は少人数でのドライブ等、個別に行っている。室内でのレクリエーション等を工夫して、ストレスがたまらないようにしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的には施設やご家族様の管理をお願いしている。必需品に関しては、ご家族やスタッフが購入したりして支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話対応を基本とし、状態変化など定期的なやり取りが行える様に支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日の清掃、消毒を行いリビングでは季節感のある飾り付けを行ったりして、楽しく過ごせる様に支援をしている。</p>	<p>天井は高く明るい。天窓が開閉でき開けると涼しい風が入ってくる。採光・換気・温度に注意し、空気清浄機があり、定期的に換気を行っている。大型テレビに向かってソファがあり、外を眺めたり好きな場所でゆっくりとした時間を過ごしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングのソファに座ったり、テレビ鑑賞を行ったり、好きな歌を歌ったりして日々を楽しく過ごして頂ける様に支援をしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた物（写真など）を居室に置いたり、安心できる空間作りを心掛けている。</p>	<p>居室は電動ベッド・エアコン・クローゼット・洗面台を設置し、寝具はリースである。個々に家族写真や衣装ケース、使い慣れたものや好みの物をそばに置き、自分らしく安心して過ごせるように配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者様の状態把握を行い、その人らしい生活が送れるように、施設内での危険箇所や破損カ所の修繕等を行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない